

公立大学法人県立広島大学 大学院
総合学術研究科 学生募集要項
◇指導教員及び研究領域◇

経営情報学専攻(修士課程・1年制課程)

平成21年1月

県立広島大学

指導教員及び研究領域
【経営情報学専攻 修士課程】

出願を希望する者は、指導を受けようとする教員と出願前に入学後の研究等について、必ず相談してください。下記の「指導教員」欄に記載のメールアドレスにメールするか、又は県立広島大学本部教学課入試担当を通じて連絡してください。

【県立広島大学 本部教学課入試担当】
〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号
電話 (082) 251-9540 ファクシミリ (082) 251-9545
メールアドレス puhnyusi@pu-hiroshima.ac.jp

教育分野	研究領域	職名	指導教員・担当授業科目・問合せ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
マネジメント分野	経営戦略領域	教授	小見 志郎 経営戦略論 komi@pu-hiroshima.ac.jp	競争力分析、事業システム戦略、イノベーション理論など経営戦略論をもとに、情報技術、情報サービス、流通産業、ベンチャービジネス、さらには、地域経営などへの実践的な応用研究を行う。	・金融・流通・情報サービス産業などの競争力戦略に関する研究 ・社会システム技術とイノベーションに関する研究 ・新産業創出やベンチャー育成など経営戦略論的アプローチの開発
		教授	姜 判国 経営組織論・ ビジネスモデル論 pkang@pu-hiroshima.ac.jp	ハイテクやITなどの技術革新による経営環境の激しい変化の中、徹底した改革を成し遂げて成長し続けているエクスラント・カンパニの事例研究を通じて、競争優位を示される新ビジネスモデルを模索する。	・組織構造と組織文化、組織の権限・責任、リーダーシップに関する研究、 ビジネスモデルに関する研究
		教授	小原 久美子 経営管理論・ 組織論的経営管理論 企業の経営ケース研究 obara@pu-hiroshima.ac.jp	経営管理（マネジメント）研究は、主にアメリカを中心として、管理過程学派の理論及び、組織の生成と存続発展の過程を論理的にたどることによって組織の本質を究明し、そこから経営者の果たすべき役割の問題に迫ろうとする組織論的経営管理論の探求を行うものである。その上で、現代の経営環境の激動の中、時代を超えて長く存続し発展・進化しつづける最も卓越した企業の経営ケース研究を行い、その経営原理と経営者機能を探求する。	・グローバル企業の組織経営とダイバーシティ・マネジメント ・現代組織文化論研究 ・戦略経営（経営戦略のプロセス論） ・現代グローバル経営者（CEO）の役割とCSR（企業の社会的責任）経営 ・コーポレート・ガバナンス研究 ・経営者教育に関する研究 ・ビジョナリー・カンパニーに関する事例研究（ABB、ノキア、ソニー、トヨタ、キャノン、ホンダ等） ・経営学説・経営哲学研究（アンリ・ファヨール（Henri Fayol）と管理過程学派の理論およびドラッカー（Drucker, P. F.）のマネジメント論、バーナード（Barnard, C. I.）の組織論的経営管理論）
		准教授	平野 実 組織行動研究 mhirano@pu-hiroshima.ac.jp	企業における組織行動を、知識創造理論の視点より実証研究によって解明する。	・国際経営および知識経営に関する研究 ・戦略的提携、国際合併企業に関する研究 ・リーダーシップに関する研究
		准教授	粟島 浩二 マーケティング論 流通システム論 awashima@pu-hiroshima.ac.jp	マーケティング論や流通論の理論的フレームワークを使いながら、実際の企業活動に関する実践的な研究を行う。主に、営業・販売における顧客価値創造に重点をおいている。	・ブランド理論研究（主として製造業） ・流通システム研究（小売業・卸売業、百貨店・商社等を含む） ・サービスマーケティング研究（サービス業、観光やスポーツマーケティングを含む） ・営業革新（業種に関わらず、営業による新規市場開拓や顧客管理、営業組織の改革を研究） ・マーチャンダイジング（小売店舗のマーケティング、商店街の活性化を含む）

教育分野	研究領域	職名	指導教員・担当授業科目・問合せ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
マネジメント分野	会計ファイナンス領域	教授	山峯山 幸繁 財務会計研究 hageyama@pu-hiroshima.ac.jp	財務会計の研究。特に、各国会計基準の収斂もしくは国際会計基準／国際財務報告基準の国内化に関する理論的、実践的研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 金融商品会計に関する研究 企業結合会計に関する研究 固定資産の減損処理に関する研究 無形資産会計に関する研究 その他、財務会計、国際会計基準等に関する理論的、実践的研究
		教授	西脇 廣治 金融システム研究 nisiwaki@pu-hiroshima.ac.jp	金融・ファイナンス分野の中で、特に金融自由化後の金融システムとその下での各経済主体の金融活動を研究対象としている。例えば、金融新技術、金融証券化、金融制度改革の下での金融機関、家計、企業の行動などである。	<ul style="list-style-type: none"> 金融システム安定化方策に関する研究 金融規制と自由化に関する研究 デリバティブ、証券化など金融技術革新に関する研究 利子率、証券価格など証券市場分析に関する研究 金融規制、金融新技術と銀行経営
		教授	小野 博則 管理会計研究 h-ono@pu-hiroshima.ac.jp	営利企業、及び非営利組織における管理会計に関する研究。管理会計システムによって生産される情報に関して、その計画・評価・統制機能を通しての戦略的意志決定や経営資源の組織内配分の効率化などへの係わりを考察する。	<ul style="list-style-type: none"> エージェンシー・モデルによる管理会計情報の有用性の分析 ファジィ線形計画モデルへの非線形メンバシップ関数適用の考察 市場のサブシステムとしての株式会社における管理会計機能の考察 非営利組織における管理会計機能に関する考察、など
		准教授	五百竹 宏明 会計情報論 iotake@pu-hiroshima.ac.jp	会計情報が経済社会においてどのような役割・機能を果たしているかについての実証的な研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 株価形成過程における会計情報の役割についての検討 会計情報を用いた経営内容の定量的な分析手法の検討 特定非営利活動法人（NPO法人）の会計と資金調達法に関する検討
		准教授	村上 恵子 ファイナンス研究 keiko@pu-hiroshima.ac.jp	家計や企業のファイナンスに関する意思決定と行動、ならびにファイナンスに関する意思決定を行う上で活用される金融仲介機関の行動について、理論的、実証的に研究する。	<ul style="list-style-type: none"> 資本コストと企業経営に関する研究 銀行行動、銀行経営に関する研究 金融教育と家計の金融資産選択行動に関する研究
	公共経営領域	教授	吉川 富夫 公共経営研究 t-yoshi@pu-hiroshima.ac.jp	公共部門の経営改革の理念と手法に関する理論的かつ実践的な調査・研究を行うことにより、行政改革からNPOの経営さらには地域社会の経営についての知見と公共経営マインドを得る。	<ul style="list-style-type: none"> 公共部門の経営改革の理念と手法に関する研究 米国の地域経営（成長管理）に関する研究 地方分権過程における地方自治体の経営改革の実践に関する研究 公共部門における人材確保と人材育成に関する研究
		教授	山本 努 地域社会研究 tutomu@pu-hiroshima.ac.jp	地域社会学（都市社会学、農村社会学）の諸問題。社会学と社会調査をめぐる諸問題。	<ul style="list-style-type: none"> 地域問題、地域生活構造の理論的、実証的検討 過疎農山村問題の研究 地方都市の研究
		教授	片桐 昭司 公共経済研究 katagiri@pu-hiroshima.ac.jp	ミクロ・マクロ理論をもとに、政府の政策に関連する公共経済学、経済成長論、および開発経済論の研究を、実証面を含めて行う。	<ul style="list-style-type: none"> 経済成長に及ぼす要因（人的資本、研究開発）の検討と分析および実証研究 発展途上国（特にアジア）における経済成長の要因の検討と分析および実証研究 内生的経済成長にける環境政策の分析と検討

教育分野	研究領域	職名	指導教員・担当授業 科目・問合せ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
情報分野	経営科学領域	教授	盛岡 良雄 経営数理論 morioka@pu-hiroshima.ac.jp	社会や自然の中で起きている、複雑系とみなされる諸現象について、コンピュータを利用したモンテカルロシミュレーションなどの手法によって解明しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会構成員の相互作用関係に関するゲーム理論的研究 ・相転移現象のカオス的振る舞いと社会構造の変化 ・複雑な交通システムに対する行列理論の適用 ・群れの構成と行動に関するセルラオートマトンによる研究
		教授	呉 漢生 システム最適化研究 hansheng@pu-hiroshima.ac.jp	実際のシステム制御問題において、制御システムはほとんど不確かさ又は外乱をもっている。このような動的システムに対して、システムを安定化できるような適応制御則とロバスト制御則を設計し、解析する。さらに、理論的結果を実際の工学システム、経営システム、情報管理システムなどへ応用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・最適制御理論とその経営システムへの応用に関する研究。例えば、生産と倉庫管理システム、広告管理システム、最適消費システム、金融管理システムなどのシステムモデリングと最適化 ・大規模複雑動的システムの分散制御に関する研究。例えば、電力管理システム、河川水質管理システム、高速道路交通システムなどのような大規模複雑システムの解析と分散制御則（または、分散戦略、分散政策）の導出
		教授	韓 虎剛 意思決定システム研究 hhan@pu-hiroshima.ac.jp	ファジィ理論や遺伝的アルゴリズムなどのソフトコンピューティングの手法を用いて、不確かであいまいな情報の加工・処理の技法について、実践的な研究を行う。特に、安定性を立脚して、ファジィシステムの設計と解析を行う。また、制御理論を駆使してビジネスプロセス制御に関する研究も行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファジィ制御システムに関する研究 ・ファジィデータベースの構築 ・ファジィモデリングに関する研究 ・ファジィラフ集合に関する研究 ・ファジィ理論を用いる意思決定システムに関する研究 ・ビジネスプロセス制御に関する研究
		准教授	竹本 康彦 数理情報システム研究 ys-take@pu-hiroshima.ac.jp	統計科学はデータから有用な情報を取り出すための数理的方法論であり、経済、経営、工学、医学など様々な分野に応用されている。この科目では、統計科学的方法に基づくデータ解析法の開発とその応用、特に品質管理システムへの応用に関する研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報理論に基づく時系列データ解析法、あるいは多変量データ解析法に関する研究とその品質管理への応用 ・統計科学的モデル選択法に関する研究とその品質管理への応用 ・品質保証のための品質管理システムに関する研究 ・品質異常が及ぼす品質管理システムへの影響に関する研究
	経営情報領域	教授	上野 信行 生産情報システム研究 ueno@pu-hiroshima.ac.jp	社会経済環境の変化が激しい時代において、「多品種 (Multi-item)」「需要の不確か性 (Uncertainty)」「短納期 (Short delivery)」「情報化 (Information)」に対応する21世紀型の生産方式の研究やそのソフトウェアの開発です。次世代のサプライチェーンマネジメント、ロジスティクス、リバース・ロジスティクス、在庫配置などにかかわる最新の理論、数理的解析、設計、運用法の研究および実システムへの適用を視野に置いた事例研究を中心に進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライチェーンマネジメント (供給連鎖計画) の解析・最適化・設計・運用法の研究 ・製品仕様の多様性と効率性を両立するマスカスタマイゼーション生産管理方式の研究 ・製品仕様の多様性の抑制 (プロダクトバリエイティ・マネジメント) およびモジュール化の研究 ・多品種のロット編成に関する研究 ・ロジスティクスにおける在庫配置の最適化の研究 ・リバース・ロジスティクスの研究 ・業務プロセスの可視化を中心とする業務設計法 (ビジネスプロセスモデリング) の研究 ・経営情報化方法論の研究

教育分野	研究領域	職名	指導教員・担当授業科目・問合せ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
情報分野	経営情報領域	教授	生田 顯 応用確率システム研究 ikuta@pu-hiroshima.ac.jp	社会システム・経済システム・環境システムなど、実現象に含まれる不規則性や不確実性を、確率的に捉え分析するための知的情報処理法について、方法論の開発と実システムへの応用に焦点を置き研究を行う。また、実システムにおける様々なあいまいさに対し、ファジィ理論を導入し、確率論との融合化を図ることにより解決する手法について研究する。	<ul style="list-style-type: none"> ・知的情報処理に基づく確率システムのモデリングとシステム分析 ・ファジィ理論の適用による信号情報処理 ・構造未知の確率システムに対する状態推定 ・ファジィ適応フィルタの開発と実システムへの応用 ・非ガウス・非定常な現象に対する非線形時系列モデルの開発 ・波動的環境システム（音・振動・電磁波）の評価と制御 ・画像の復元と認識に関する研究
		教授	錦織 昭峰 数理最適化研究 nishiki@pu-hiroshima.ac.jp	経営の問題として現れる各種の計画、設計、運用に適用される、数理的な最適化について研究する。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識情報システムのためのアルゴリズムとデータ構造に関する研究 ・物流のためのロジスティクスに関する研究 ・スケジューリング問題、生産計画問題などに関する研究 ・設備・部品などのレイアウト問題、スケジュール表などの編成問題、論理式の充足可能性問題などに関する研究 ・21世紀 COE プログラムの選考システムに関する研究
		教授	森田 勝弘 経営情報システム研究 morita@pu-hiroshima.ac.jp	社会経済環境がめまぐるしく変化する今日の企業や公共団体におけるビジネスニーズに適合する情報システム体系を実現するための分析・設計技法、システム構築アプローチ、ITガバナンス、及び経営統合対応に関する実践的な研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業及び公共団体における中長期経営戦略の企画立案、日々の組織運営のモニタリング、実績評価、問題分析に関わる技法、および情報管理ニーズの研究 ・経営管理を支援するための経営情報システムの企画、設計、開発、運用に関わるアプローチの研究 ・情報化投資、および情報システム運営のガバナンスに関する研究
	教授	岡村 雅仁 経営情報論 okamura@pu-hiroshima.ac.jp	企業情報の電子開示システムについて、開示内容や開示方法の研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国および米国における電子開示システムに関する研究 ・企業情報の開示内容に関する研究 ・企業情報を伝達する制度または経路に関する研究 ・開示システムの今後の課題に関する研究 	
	情報システム領域	教授	田中 稔次朗 数理情報研究 tanaka_t@pu-hiroshima.ac.jp	社会、経済・経営システムの様々な現象が複雑系と見なされ、解析のための新しいアプローチが注目されている。これらの非線形システムに生じる不規則時系列などを、カオスおよびフラクタル理論、あるいはニューラルネットワーク理論によって研究する。特に、カオスニューラルネットワークを用いたスケジューリングなど最適化問題および学習による需要予測、さらには株価や為替の変動など経済時系列のエントロピー時系列解析法による分析と予測の研究を行っている。また、脳の老化や損傷の数値モデル化の研究も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・カオスおよびフラクタル理論による株価や為替変動の数値モデル的研究 ・株価や為替等の経済時系列のエントロピー時系列解析法による研究 ・カオスニューロコンピュータの開発とその情報処理能力に関する研究 ・ニューラルネットワークを用いたスケジューリング問題の最適化や需要予測、株価等の経済時系列予測に関する研究 ・脳の老化や損傷とリハビリテーションについての数値モデルによる研究 情報処理教育におけるスキルアップとウィルアップに関する研究

教育分野	研究領域	職名	指導教員・担当授業科目・問合せ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
情報分野	情報システム領域	教授	肖 業貴 適応情報システム研究 xiao@pu-hiroshima.ac.jp	1. 適応信号処理理論と応用情報通信システムにおいて様々な信号の解析が必要である。しかも、信号自身やシステムの特性が時間とともに変化するものが通常である。そのような変化に適応できる信号・情報の処理手法が求められている。本研究では適応信号解析アルゴリズムの開発と実システムへの応用を行う。 2. 知的Human-Interfaceの実現を目指した顔と顔表情の認識 知的HIの実現において、顔や顔の表情に対する自動認識は基礎技術として極めて重要である。近年、Biometricsの研究が盛んに行われ注目されている。本研究では、高精度・高効率の顔と顔の表情認識法の確立を目指している。	<ul style="list-style-type: none"> ・周波数ミスマッチを考慮したLMS適応周波数解析アルゴリズムの研究 ・センサーエラーを補償できる新たな狭帯域能動騒音制御システムの研究 ・K-Means アルゴリズムと2-D DCT を用いた顔画像の表情認識と顔表情画像の自動合成 ・顔画像全体の情報を用いた新しい個人識別法の研究
		教授	陳 春祥 情報ネットワーク研究 chen@pu-hiroshima.ac.jp	安全かつ快適なネットワークサービスを提供するため、システムの運用管理・マルチメディアサービス品質保証並びに新世代ネットワークシステムにおける理論的及び実践的研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報ネットワークセキュリティに関する研究 ・ネットワークシステム構築管理技術 ・マルチメディア通信におけるサービス品質 (QoS) に関する研究 ・ネットワークアプリケーション開発 ・新世代ネットワークアーキテクチャに関する研究
		准教授	宇野 健 視覚情報処理研究 uno@pu-hiroshima.ac.jp	情報の視覚化を主とした、マルチメディアシステムの開発と応用に関する研究を行う。実際の企業や官庁との共同開発、運用実験などを通じた、実践的な研究も行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア Web アプリケーションの開発と応用に関する研究 ・Web アプリケーションの教育への応用に関する研究 ・IT 化によるサービス産業等の生産性向上に関する研究